

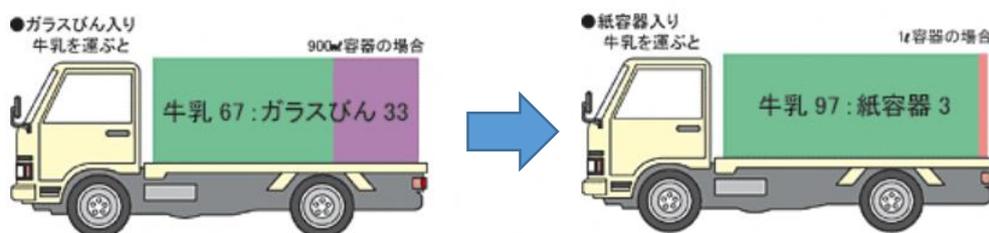
給食用牛乳がびんからパックに変わります

老朽化したびん牛乳の製造設備を紙パックの製造設備に新設するため令和5年度2学期より給食用牛乳がびんからパックに変わります。

牛乳パックでのエコな取り組み

田原市では、たはらエコ・ガーデンシティ計画に沿い、地球の限りある資源を大切に使うための取り組みを市全体で行っています。

【その1】 輸送のためのエネルギーの削減



紙パックはびんより軽いため、より多くの牛乳を一度に運ぶことができるようになり、エネルギーの節約につながります。また、びんは割れやすい・重ねることができないなどがあるため、紙パックの方が取り扱いやすいという利点があります。

給食の牛乳を運ぶのも軽くなるね。



【その2】 ストローを使わずに飲むことができるパック

新しい牛乳パックは、屋根型の200mlの飲み切りタイプでストローを使わずに飲むことができます。ストローやその外袋などのプラスチックごみを出さない取り組みです。



*** 保護者の方へ ***

新しい牛乳パックは、市販の1ℓのものと同じ形状です。開け方にとまどわないためにも、特に低学年のお子さんは、夏休みの間に牛乳パックを開封する経験をご家庭でしていただけると幸いです。

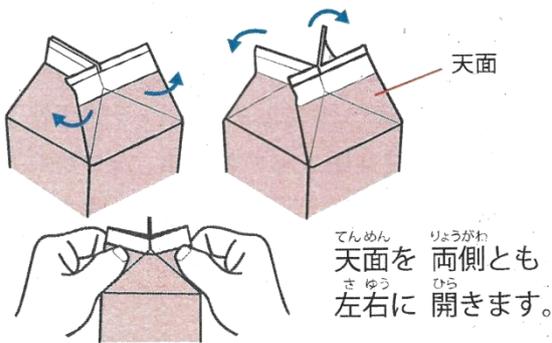
また、「給食用牛乳は自分だけで飲み切るもののため、口をつけて飲んでよい」ということをご理解いただきますようお願いします。

【その3】牛乳パックのリサイクル

中学校では、2学期から飲み終えた牛乳パックのリサイクルを始めます。
また、小学校も状況にあわせてリサイクルを始めていきます。

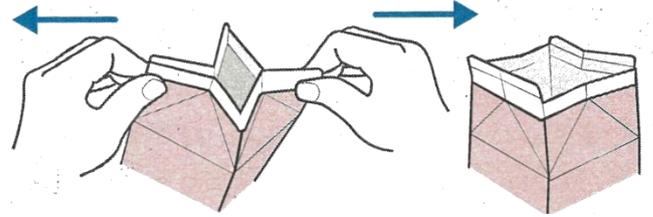
【牛乳パックの開き方】

1



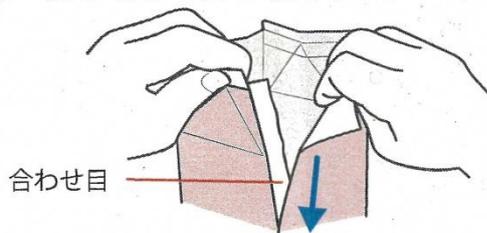
2

絵のように両はしをつまんで引っばると、牛乳パックの上の部分が開きます。



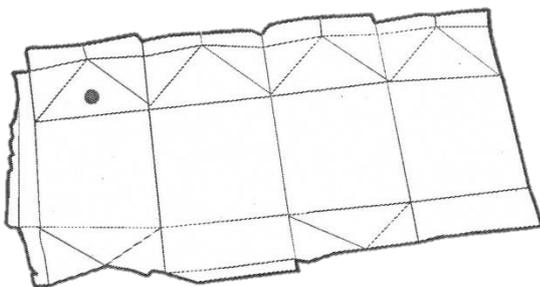
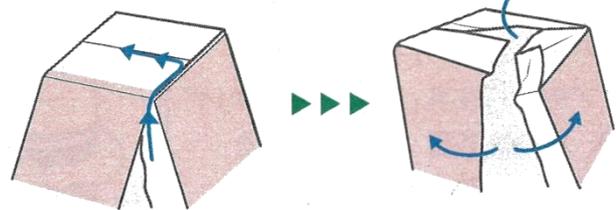
3

横の合わせ目を開きます。



4

底を上にして開きます。合わせ目にそって
はがしながら左右に開きます。



開き終わると1枚の紙になります。紙の端は、ギザギザで構いません。

**きれいに洗って
乾かして リサイクル**

*** 児童・生徒のみなさんへ ***

牛乳パックは、手で開くことができます。パックの大きさに関わらず同じ作りになっているので、夏休みの間に家にある牛乳パックを手で開いてみましょう。

《お問い合わせ》 田原市給食センター 電話 45-5030